令和８年度３月期

総合学力試験

標準的参考文献

神戸大学大学院
経営学研究科

第１群

経　営　管　理

(1) Burrell, G. and G. Morgan (1979), *Sociological Paradigms and Organisational Analysis*, Heinemann. (野中郁次郎・金井一頼・鎌田伸一訳『組織理論のパラダイム』千倉書房, 1986 年)

(2) Douma, S. and Schreuder, H. (2002), *Economic Approaches to Organizations, 3rd Edition*, Pearson. (丹沢安治・岡田和秀・渡部直樹・菊澤研宗・久保知一・石川伊吹・北島啓嗣訳『組織の経済学入門（第 3 版)』文眞堂, 2007 年.)

(3) Latham, G. (2007), *Work Motivation: History, Theory, Research and Practice*, Sage Publication. (依田卓巳訳・金井壽宏監訳『ワーク・モチベーション』NTT 出版, 2009 年.)

(4) Miner, J. B. (2015), *Organizational Behavior 1: Essential Theories of Motivation and Leadership*, Routledge.

(5) Perrow, C. (1972), *Complex Organizations: A Critical Essay*, Foresman and Company. (佐藤慶幸訳『現代組織論批判』早稲田大学出版部, 1978 年.)

(6) Schein, E. H. (1980), *Organizational Psychology, 3rd Edition*, Prentice-Hall. (松井賚夫訳『新訂 現代心理学入門 組織心理学（原書第 3 版）』岩波書店, 1981 年.)

(7) Scott, R. S. (1995), *Institutions and Organizations*, Sage Publications. (河野昭三・板橋慶明訳『制度と組織』税務経理協会, 1998 年.)

経　営　制　度

(1)　上林憲雄・庭本佳子編著『ベーシックプラス人的資源管理(第 2 版)』中央経済社, 2025 年。

(2)　ジョン・ブラットン, ジェフリー・ゴールド著, 上林憲雄他訳『人的資源管理－理論と実践－(第 3 版)』文眞堂, 2009 年。(John Bratton and Jeffrey Gold, *Human Resource Management: Theory and Practice*, 3rd edition, 2003.)

(3)　藤本隆宏・クラーク K.B.『【増補版】製品開発力―自動車産業の「組織能力」と「競争力」の研究』ダイヤモンド社, 2009 年。

(4)　ウォマック, J.P., ルース, D., ジョーンズ, D.T.著, 沢田博訳『リーン生産方式が、世界の自動車産業をこう変える。-最強の日本車メーカーを欧米が追い越す日』経済界, 1990 年, 1-3 章。

(5)　西口敏宏『戦略的アウトソーシングの進化』東京大学出版会, 2000 年, 1 章, 5-8 章。

(6)　F・アマトーリ, A・コリー著, 西村成弘・伊藤健市訳『ビジネス・ヒストリー―グローバル企業誕生への道程―』ミネルヴァ書房, 2014 年。(Franco Amatori & Andrea Colli, *Business History: Complexities and Comparisons*, Routledge, 2011.)

(7)　西村成弘『日米グローバル経営史―企業経営と国際関係のダイナミズム』法律文化社, 2024 年。

決　定　分　析

ゲーム理論の基礎的知識を問います。ゲーム理論の基礎概念を理解した上でその代表的な応用を学習してください。代表的な参考書には次があります。

(1) Mailath, G.J., *Modeling Strategic Behavior: A Graduate Introduction to Game Theory and Mechanism Design*, World Scientific Publishing, 2019. (A PDF version with some corrections and typos fixed is available at https://web.sas.upenn.edu/gmailath/books/modeling-strategic-behavior/.)

(2) Maschler, M., Solan, E., and Zamir, S., *Game Theory*, *Second Edition*, Cambridge University Press, 2020.

(3) Kreps, D., *Microeconomic Foundation II*: *Imperfect Competition, Information, and Strategic Interaction*, Princeton University Press, 2023.

基礎概念は Mailath (2019)の対応する次の章を中心に学習するとよいでしょう。

- 戦略形ゲーム表現，展開形ゲーム表現，支配された戦略の逐次消去
  Ch.1
- 混合戦略，行動戦略，ナッシュ均衡，後方推論法，部分ゲーム完全均衡
  Ch.2
- ベイジアン・ナッシュ均衡，相関均衡
  Ch.3
- 完全ベイジアン均衡，逐次均衡
  Ch.5

応用は以下のトピックについて好きな参考文献で学習するとよいでしょう。例えば，上で挙げた参考図書の対応する章は有益です。

- オークション
  Mailath Ch.3, Maschler, Solan and Zamir Ch.12, Kreps Ch.24
- シグナリング
  Mailath Ch.6
- 交渉
  Mailath Ch.9, Kreps Ch.23.1–23.3
- メカニズムデザイン
  Mailath Ch.10, Ch.12
- マッチング
  Maschler, Solan and Zamir Ch.23, Kreps Ch.25

財　務　会　計

(1) 桜井久勝『財務会計講義（第27版）』中央経済社、2026年。

(2) 佐藤信彦・齋藤真哉・梅原秀継・角ヶ谷典幸（編著）『スタンダードテキスト財務会計論Ⅰ〈第19版〉－基本論点編』中央経済社、2026年。

(3) 佐藤信彦・齋藤真哉・梅原秀継・角ヶ谷典幸（編著）『スタンダードテキスト財務会計論Ⅱ〈第19版〉－応用論点編』中央経済社、2026年。

(4) Donald E. Kieso, Jerry J. Weygandt, and Terry D. Warfield. 2024. Intermediate Accounting IFRS, International Adaptation, 5th ed. Wiley.

あるいは、これらと同等の内容を含む財務会計・財務諸表論の教科書

会　計　制　度

(1) 鈴木一水『税務会計分析―税務計画と税務計算の統合―』森山書店 2013 年。

(2) 鈴木一水・奥田真也・米谷健司・田村威文・村上裕太郎・山田哲弘編著『税務会計研究ハンドブック―EBPMのための理論・実証分析序説』同文館出版2024年。

(3) 橋本尚・山田善隆[2025]『IFRS会計学基本テキスト（第8版）』中央経済社，第2章第3-6

節，第3章第2,4,5,6,9,11,13,14,15節。
(4) 新日本有限責任監査法人 河野明史・腰原茂弘・田邉朋子編著[2016]『完全比較 国際会計基準と日本基準（第3版）』清文社，第4-5章，第9-11章，第13章，第16-22章，第25-28章，第39章。
(5) 企業会計審議会「監査基準(2020年11月改訂)」「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準（2023年4月改訂）」「期中レビュー基準(2024年3月改訂)」「監査における不正リスク対応基準(2013年3月)」「監査に関する品質管理基準(2024年3月)」及びこれらの前文
(6) 伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏『ベーシック監査論(十訂版)』同文館出版 2026 年。

管 理 会 計

(1) Horngren's Cost Accounting: A Managerial Emphasis 18th Edition Global Edition / Srikant M. Datar, Madhav Rajan : Pearson ,2025 ,ISBN-10: 1292463066
(2) Merchant, K and W. Van der Stede, 2017. Management Control Systems 4th Edition (4th Edition), Pearson. (ISBN-10: 1292110554)
(3) F. G. H. Hartmann, k. Kraus, and G. Nilsson, Anthony, R. N., V. Govindarajan, 2020. Management Control Systems, 2e, McGraw Hill Higher Education, UK 版. (ISBN-10: 1526848317)

マ ー ケ テ ィ ン グ

(1) 高嶋克義 『現代商業学（新版）』有斐閣，2012 年
(2) 高嶋克義 『現代マーケティング論』有斐閣，2008 年
(3) 鈴木安昭・田村正紀 『商業論』有斐閣，1980 年，第２章，第５章
(4) 丸山雅祥 『日本市場の競争構造』創文社，1992 年，第２章
(5) 風呂勉 『マーケティング・チャネル行動論』千倉書房，1968 年，第４章
(6) 高嶋克義 『マーケティング・チャネル組織論』千倉書房，1994 年，第１章，第２章
(7) 高嶋克義・南知恵子 『生産財マーケティング』有斐閣，2006 年，第６章
(8) 田村正紀 『マーケティング行動体系論』千倉書房，1971 年，第１章，第２章、第４章
(9) 池尾恭一他『マーケティング』有斐閣 New Liberal Arts Selection，2010 年，第４章，第６章
(10) 栗木 契 『リフレクティブ・フロー』白桃書房，2003 年，第３章
(11) 小川 進 『イノベーションの発生論理』千倉書房，2000 年，第１章
(12) 石井淳蔵 『マーケティングの神話』岩波現代文庫，2004 年，第６章
(13) 南知恵子 『リレーションシップ・マーケティング』千倉書房，2005 年，第１章，第５章
(14) 黄 磷 『新興市場戦略論』千倉書房，2003 年，第２章
(15) Kotler, P., Keller, K, and Chernev, A, *Marketing Management*, Global Edition, 16th edition, 2021 **※KIMAP 学生は(15)の文献を参考にしてください。**

フ ァ イ ナ ン ス

Danthine, J., and Donaldson, J. B., Intermediate Financial Theory (3rd Edition), Academic Press, 2014, Chapter 1～14.

市 場 経 済 分 析

(1) Varian, H.R., Microeconomic Analysis (3rd ed.), Norton, 1992.
(2) 奥野正寛ほか、『ミクロ経済学演習 第2版』、東京大学出版会、2018年

第２群

数 学 的 方 法 論

(1) A.C.チャン、K.ウエインライト（著), 小田 正雄、高森 寛、森崎 初男、森平 爽一郎（翻訳)『現代経済学の数学基礎』[第４版]（上）（下） 4・5・7・8・9・11・12 章, (シーエーピー出版） , 2010 年。

(2) Rangarajan Sundaram,『A First Course in Optimization Theory』 Chapter1・2・4・5・7・8 (Cambridge University Press), 1996.

統 計 的 方 法 論

久保川達也, 国友直人 (2016)『統計学』東京大学出版会 (14 章を除く)

落海 浩・首藤 信通(訳), 2018, Rによる統計的学習入門, 朝倉書店 (1-6章, ただしRのコードを覚える必要はない)

James R. Schott, 豊田秀樹訳 (2011) 統計学のための線形代数, 朝倉書店 1-9章

田中久稔 (2019) 計量経済学のための数学, 日本評論社

Diez, D., Cetinkaya-Rundel, M., & Barr, C. (2019). OpenIntro statistics (4th ed.). OpenIntro.

DeGroot, M. H., & Schervish, M. J. (2012). Probability and statistics (4. ed). Addison-Wesley. (12章を除く)

James, G., Witten, D., Hastie, T., & Tibshirani, R. (2021). An introduction to statistical learning: With applications in R. Springer US. (1-6 章, ただし R のコードを覚える必要はない)

Searle & Khuri (2017) Matrix algebra useful for statistics (2nd ed.), Wiley chapter 1-9

定 性 的 方 法 論

(1)

Saunders, M., Lewis, P., Thornhill, A., (2019), Research Methods for Business Students, Pearson Education Limited. ISBN-10: 1292208783

※KIMAP 学生は(1)の文献を参考にしてください。

(2)

◇テーマ	**イントロダクション・社会研究方法の基礎**
◇必読文献	・ Bernard, H. R. (2013), Social Research Methods: Qualitative and Quantitative Approaches, 2nd ed., Sage, Chs. 1-3.（特に Chapters 1-2）
◇参考文献	・戸田山和久『科学哲学の冒険－サイエンスの目的と方法をさぐる』NHK ブックス。 ・Bryman, A. (2021), Social Research Methods, Oxford UP, Ch. 2. ・Flick, U. (2023), An Introduction to Qualitative Research, 7th ed.

◇テーマ	**実証主義的パースペクティブ**
◇必読文献	・Adorno, T. W., Albret, H., Dahrendorf, R., Harbermas, J., Pilot, H., Popper, K. (1969) Der Positivismusstreit in der Deutschen Sociolozie, Hermann Luchterhad Verlag, GmbH. (城塚登・浜井修訳『社会科学の論理:ドイツ社会学における実証主義論争』河出書房新社、1979 年、109-128 頁. ・Hage, J. (1972) Techniques and Problems of Theory Construction in Sociology, John Wiley & Sons.（小松陽一・野中郁次郎訳『理論構築の方法』白桃書房、1978 年.）絶版につき配布、第 1-4 章.
◇参考文献	・富永健一 (1993) 『現代の社会科学者: 現代社会科学における実証主義と理念主

	義』講談社学術文庫. ・Chalmers, A. F. (2013) What is This Thing Called Science? [third edition], University of Queensland Press.（高田紀代志・佐野正博訳『改訂新版 科学論の展開』、2013 年） ・服部泰宏(2023)『組織行動論の考え方・使い方：第 2 版』有斐閣. 第 3 章，第 4 章，第 5 章，第 6 章.

◇テーマ	解釈主義的パースペクティブ
◇必読文献	・M. ウェーバー(1998)『社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」』岩波文庫 ・C. ギアーツ(1987)『文化の解釈学Ⅰ』岩波現代選書, 3-56 頁
◇参考文献	・三苫利幸(2009)「『価値自由』論の系譜：戦後ヴェーバー研究の展開と現代」『社会文化研究所紀要』第 63 号, pp. 19-42.

◇テーマ	構造主義的パースペクティブ
◇必読文献	・橋爪大三郎(1988)『はじめての構造主義』講談社現代新書。 ・渡辺二郎(1994)『構造と解釈』ちくま学芸文庫。第 1、 2、 3、 5 章。 ・内田樹(2002)『寝ながら学べる構造主義』文春新書。
◇参考文献	・M フーコー(1977)『監獄の誕生』新潮社。 ・M フーコー(2000)『言葉と物』新潮社。 ・M フーコー(2006)『知の考古学』河出書房新社。

◇ テ ー マ	**事例研究方法論 1**
◇必読文献	・Eisenhardt, K. M. (1989). Building theories from case study research. Academy of Management Review,14(4), 532-550. ・Siggelkow, N. (2007). Persuasion with case studies. Academy of Management Journal, 50(1), 20-24.
◇参考文献	・R. イン (1995)『ケース・スタディの方法』千倉書房。 ・髙橋広行・徳山美津恵・吉田満梨 (2015)『ケースで学ぶケーススタディ』同文舘出版。 ・栗木契（2021）「事例に学ぶ知識獲得の有用性」『プレ MBA の知的武装』中央経済社、第 3 章。

◇ テ ー マ	**事例研究方法論 2**
◇必読文献	・Plowman, D. A., Baker, L. T., Beck, T. E., Kulkarni, M., Solansky, S. T., & Travis, D. V. (2007). Radical change accidentally: The emergence and amplification of small change. Academy of Management Journal, 50(3), 515-543. ・Gilbert, C. G. (2005). Unbundling the structure of inertia: Resource versus routine rigidity. Academy of Management Journal, 48(5), 741-763.
◇参考文献	・井上達彦(2014)『ブラックスワンの経営学』日経 BP 社、第 2 章・第 3 章。 ・R. イン (1995)『ケース・スタディの方法』千倉書房。 ・G. アリソン・F. ゼリコウ(2016)『決定の本質・第 2 版』日経 BP クラシックス。 ・Langley, A. (1999). Strategies for theorizing from process data. Academy of Management Review, 24(4),691-710.

◇ テ ー マ	**歴史的方法論 1**

◇必読文献	・カルロ・マリア・チポッラ (2001)『経済史への招待：歴史学と経済学のはざまへ』国文社，第 1-6 章。
◇参考文献	・E. H. カー(1962)『歴史とは何か』岩波書店（岩波新書)。

◇ テ ー マ	歴史的方法論 2
◇必読文献	・アルフレッド D. チャンドラー, Jr. （著)，有賀裕子（訳)『組織は戦略に従う』，ダイヤモンド社，2004 （原著：Alfred D. Chandler, Jr., *Strategy and Structure*, 1962.)，序，第 1 章。 ・アルフレッド D. チャンドラー, Jr. （著)，鳥羽欽一郎，小林袈裟治（訳)『経営者の時代：アメリカ産業における近代企業の成立』, 東洋経済新報社, 1979 (原著：Alfred D. Chandler, Jr., *Visible Hand: The Managerial Revolution in American Business*, Berknap Pr.,1970)，序論。 ・保城広至(2015)『歴史から理論を創造する方法：社会科学と歴史学を統合する』勁草書房。
◇参考文献	・黒沢隆文・久野愛(2018)「経営史研究の方法・課題・存在意義―英語文献における研究動向と論争―（上)・(下)」経営史学、第 53 巻第 2 号、第 53 巻第 3 号。

◇ テ ー マ	グラウンデッドセオリー・アプローチ
◇必読文献	・K. シャーマズ(2020)『グラウンデッド・セオリーの構築』[第 2 版] ナカニシヤ出版 ・B. G. グレイザー・A. L. ストラウス(1996)『データ対話型理論の発見 ： 調査からいかに理論をうみだすか』新曜社
◇参考文献	・Apramian, T., Cristancho, S., Watling, C., & Lingard, L. (2017) “ (Re)Grounding grounded theory: a close reading of theory in four schools,” Qualitative Research, 17(4), 359–376. ・A. ストラウス・J. コービン(2012)『質的研究の基礎 ： グラウンデッド・セオリー開発の技法と手順(第 3 版) 医学書院

◇ テ ー マ	サーベイ・リサーチ方法論
◇必読文献	・盛山和夫（2004）『社会調査法入門』有斐閣ブックス,ISBN:978-4641183056, 4 章（p.61-77)，5 章（p.79-94)，7 章（p.115-139） ・田村正紀 (2006)『リサーチ・デザイン』白桃書房, ISBN: 978-4561264576, 2 章 (p.25-48)
◇参考文献	・伊藤公一朗 (2018)『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』光文社新書, ISBN:978-4334039868 ・ Grove, R.M., Flower, F.J.Jr., Couper, M.P. Lepkowski, J.M., Singer. E., & Tourangeau, R. (2009). Survey Methodology (2nd ed.). Hoboken, NJ: John Wiley & Sons. ISBN:978-0470465462

◇ テ ー マ	フィールド・リサーチ方法論
◇必読文献	・ Van Maanen, J. (1988) Tales of the Field: On Writing Ethnography， Chicago: The University of Chicago Press（森川渉（訳)『フィールドワークの物語: エスノグラフィーの文章作法』，現代書館, 1999 年)。 ・金井壽宏・佐藤郁哉・ギデオン クンダ・ジョン ヴァン マーネン（2010)『組織エ

	スノグラフィー: エスノグラファーのエスノグラフィー』有斐閣。
◇参考文献	Denzin, N. K. and Lincoln, Y. S. (eds.) (2005) *The SAGE Handbook of Qualitative Research* (2nd edition), Sage Publications（平山満義（監訳）・岡野一郎・古賀正義（編訳）『質的研究ハンドブック（第 1 巻．第 2 巻, 第 3 巻)』北大路書房, 2006 年)。

◇ テ ー マ	**生成 AI リサーチ方法論 1**
◇必読文献	・Nelson, L. K. (2017). "Computational Grounded Theory: A Methodological Framework," Sociological Methods & Research, 49(1), pp.3-42.
◇参考文献	・吉住遼・原泰史 (2025) 『Python ではじめるオープンデータ分析』, 講談社

◇ テ ー マ	**生成 AI リサーチ方法論 2**
◇必読文献	・Garcia Quevedo, D. & Kuri, J. (2026). AI for Qualitative Research: A Hands-On Guide for Management Scholars, Springer. (Chapter 3 "Using LLMs in Qualitative Analysis",).
◇参考文献	・Odden,T.O. et al.(2024). "Using text embeddings for deductive qualitative research at scale", Physical Review Physics Education Research., 20, 020151.

◇テーマ	**定性的研究と研究論文**
◇必読文献	・Julie Battilana and Silvia Dorado. (2010), “Building Sustainable Hybrid Organizations: The Case of Commercial Microfinance Organizations”, *Academy of Management Journal*, Vol. 53, No. 6, pp. 1419-1440.
◇参考文献	・ Bryman, A. (2016), Social Research Methods, 5th ed., Oxford University Press, Chapter17. ・デンジン&リンカン(2006)『質的研究ハンドブック』（第 1〜3 巻）北大路書房。